



みんなで子育て

西濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail: sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。



家庭教育応援通信
バックナンバー

大垣市立東小学校150周年記念事業 講演会&授業参観

「ゆるく、愉快地に、生きていく」

令和8年6月6日(土)

9:25~10:25 (4,5,6年親子)

10:45~11:45 (1,2,3年親子)

東小学校 体育館



親子で学び、触れ合う貴重な機会

大垣市立東小学校では、土曜日の授業参観にあわせて、親子と一緒に講師のお話を聞く機会を設けています。それは、普段なかなか聴くことのできないお話の内容について考える貴重な時間となっています。今回は、学校創立150周年記念事業の一環として開催されました。

当日は、授業参観と講演会を学年ごとに2つに分け、交代で行いました。講演会の途中で授業参観に行くことも可能で、その点については事前に講師の方からも配慮をいただいているので、保護者の皆さんは安心して出入りしながら参加することができました。

当日は、東小学校のPTAも一緒になって、会場準備や案内、さらに当日参加できなかった保護者に向けた動画撮影など、それぞれの役割を協力しながらスムーズに進めていました。保護者同士の連携と支え合いが感じられる、心強い活動となっています。

「あなたの苦手なものは何？」

子どもたちからは、勉強、ゴーヤ、プール、コミュニケーションなど、いろいろな意見が出ました。



澤田智洋 (さわだ ともひろ)さん

世界ゆるスポーツ協会代表理事/コピーライター
2015年に誰もが楽しめる新しいスポーツを開発する「世界ゆるスポーツ協会」を設立。これまで100以上の新しいスポーツを開発し、30万人以上が体験。海外からも注目を集めている。

(大垣市立東小学校講演会案内文書より)

- ・ 苦手なものは誰にでもある。でも、それって自分が悪いの？
- ・ ルールやきまりは大切だけど、この世界がガチガチすぎるのではないかな。
- ・ 努力してもできないことがある。それならば、社会を変えていけば、同じような人が助かる。
- ・ 世の中にはスポーツをしていない人が半分はいる。スポーツをしたくてもできない人がいる。「ゆるスポーツ」は自分が苦手なことが原点。苦手なことも社会(ルール・方法等)を変えれば、だれでも参加できるようになる。
- ・ 「苦手だな」「人とちがうな」「なじめないな」と感じたら、それは、「世界をゆるめるチャンス」

ゆるスポーツの1つ 500歩サッカー

5対5のサッカーで、各プレーヤーは500歩までしか動けない。腰に付けたカウンターが走ったり、歩いたりすると数が減る。0になる前に休むと歩数が増えていく。

1分動くと、1分休まなければ心臓に負担がかかる人とコラボして生まれた。



皆さんの園・学校の家庭教育学級も紹介させてください。

「こんなことを計画しているよ。」「こんな工夫をしているよ。」などの情報がありましたら、ぜひ、お声かけください。

同じ立場で家庭教育学級を企画している皆さんに紹介したいと思います。

西濃県事務所(酒井)
Tel 0584-73-1111 内線212
sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp



親子で気軽に楽しめる場所 ～地域に根ざした墨俣児童館～



墨俣児童館（大垣市）は、旧安八郡墨俣町のころから親しまれてきた、地域に根ざした児童館です。毎月、就学前のお子さんと保護者を対象に、音楽に合わせて体を動かすリズム遊びや親子スマイル遊びを行っており、親子で楽しいひとときを過ごすことができます。また、「わくわく週間」では制作を中心とした遊びもあり、お子さんの「やってみたい!」という気持ちを大切にしています。

さらに、お隣にある墨俣こども園内の子育て支援センターでも乳幼児向けのイベントが行われており、近くの駐車場を利用して、都合に合わせて2つの施設を行き来できるのも魅力です。

こども園のお迎えのあとに児童館で少し遊んでから帰る親子の姿や、学校から帰宅後に元気に遊びに来る小学生の姿も見られます。

墨俣児童館は、朝9時から18時まで（4月～9月）開いています。（9時から17時まで：10月～3月）早起きのお子さんをもつ保護者の方からは、「家にいるとテレビやおやつばかりになってしまうけれど、ここならやさしい先生もみえて、遊び道具もたくさんあり、子どもが夢中で遊んでくれるので助かります」といった声もが聞かれ、車で15分かけて通って来る方もみえます。大垣市内はもちろん、お隣の瑞穂市から訪れる方もみえます。

乳幼児を育てている保護者にとって、無料で安心して子どもを遊ばせることができる場所は、とても心強い存在です。この日も、市内のショッピングモールに無料の子ども向け遊び場がオープンしたことが話題があがり、改めてこうした施設への関心の高さが感じられました。

親子スマイル遊び

～こいのぼりとあそぼう～

令和8年5月21日（木）

10:00～10:30

対象：乳幼児親子



「みんなのお目目は
どこかな？」



大きなこいのぼりに
向かって、
「ようい、どん！」



「こいのぼり、
大好き！」



親子スマイル遊びは、毎回、児童館職員と子育て支援センター職員とが協力して、親子で楽しく参加できる内容を工夫して計画しています。

今回は、グーパー体操、絵本の読み聞かせ、体操に加え、こいのぼりくぐりやこいのぼりづくりを楽しみました。親子でふれあいながら、笑顔あふれる時間を過ごしました。

細長いビニル袋に色とりどりのビニルテープを貼っていきます。テープをはがしたり貼ったりする動きは、手先の運動として大切です。

墨俣には、他にも子どもたちの「楽しい居場所」がたくさんあります

墨俣には、児童館以外にも子どもたちが安心して過ごせる場所がたくさんあるのをご存じですか。大垣市市民活動団体が運営する「みち草会」では、みち草食堂でお弁当を提供したり、ひょうたんアートやデコクッキーづくりなど、ものづくりの楽しさを味わえる活動を行っています。また、NPO法人による「みのむしハウスすのまた」は、駄菓子やアイスを楽しめるコーナーやゲームコーナー、また、漫画や絵本が読める読書スペースがあり、子どもが思い思いに過ごすことができる場所です。勉強に取り組む子の姿も見られ、子どもたちが自分のペースで安心して過ごせる居場所になっています。



（チラシ・HPより）

親子で広がる笑顔のひろば♪池田町の児童館へようこそ！

池田町温知児童館 おやつ作り

令和8年5月29日（金）

10:30～11:30

講師：食育改善推進協議会

対象：乳幼児親子



6月は、
食育週間です。

管理栄養士さんのお話



快便のすすめ
早起きして朝ごはんを食
べると胃腸が動きます。

池田町には、温知・池田・八幡・養基の4つの児童館があります。夕方になると下校後の小学生でにぎわいますが、それまでの時間は、未就園の乳幼児と保護者の皆さんが安心して過ごせる居場所となっています。館内では、おもちゃや絵本で自由に遊ぶのはもちろん、ものづくりや体を動かす遊び、さらには地域の方々の協力による楽器体験や手遊びなど、親子で楽しめる活動がたくさん用意されています。

この日は、保健センターの管理栄養士さんと、食育改善推進協議会のヘルスメイトさん3名を講師に迎え、食育体験が行われました。メニューは「人参せんべい」と「キャロットゼリー」。キャロットゼリーは時間がかかるため、ヘルスメイトさんがあらかじめ人数分を準備してくださいました。「人参せんべい」は、すりおろした人参に小麦粉・片栗粉・すりごま・塩を加え、ビニル袋の中でこねていき、平たくして焼き上げます。小さな子どもたちの手にお母さんがそっと手を添え、一緒にこねる姿がとても印象的でした。こねる・丸める・伸ばすといった動きは、乳幼児にとって大切な手先の発達を促す活動でもあります。楽しみながら栄養のあるおやつづくりができる、まさに一石二鳥のひとときとなりました。



お母さんと一緒にもみもみ♪だんだんやわらかくなっていくのが、不思議なのかな。

平たく伸ばすのはお母さん中心。ハート形のおせんべいもあって、かわいいですね。

お子さんの食が細く、ゼリーなら食べるかもしれないと申し込まれたお母さんの期待どおり、喜んで食べていました。

てんがず
くがお
だす
さい
い
ま
い
に
入
っ
た
っ
さ
ー
ブ
ル
に
お
ー
人



大きなお口で
パクリ！



「もったいない」をつなぐやさしい取組 ～児童館の衣類リユース～

池田町では、サイズが合わなくなった子ども服を児童館へ持ち寄っていただくように広報しています。集まった服は、町内4つの児童館から温知児童館に集められ、サイズごとに分かりやすく展示されます。児童館に遊びに来た方は、1人5点まで無料で持ち帰ることができ、子育て家庭にとってうれしい仕組みとなっています。現在は、夏服がずらりと並び、必要な方が自由に選べるようになっています。汗をかきやすく、着替えの回数も増えるこれからの季節に、とてもありがたい取組です。子ども服を通して、地域の優しさがつながっています。



西濃地区家庭教育推進会議 5/13（水）



家庭教育推進会議は、西濃地区の生徒指導連携強化委員会と兼ねて、毎年行われています。

第1回は、環境エネルギー生活部県民生活課生涯学習係の塚本陽治課長補佐から、保護者の相談や学習の場などの家庭教育支援のために行われている家庭教育学級、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動、岐阜県特設サイト「みんなで家庭教育」の紹介がありました。

今、保護者の不安や孤立感を軽減するために、様々な家庭教育の支援者がつながり合うことが求められています。市町で設置が進められている「家庭教育支援チーム」もその1つです。

そうした情報も、特設サイトにあります。ご覧いただければ、幸いです。

「あったかい言葉かけ運動」作品募集

「いじめをしない！させない！許さない！」という子どもたちを育てるための取組を進めていく「あったかい言葉かけ県民運動」その一環として、県では、「あったかい言葉」を募集しています。一般の方や児童生徒、保護者、学校職員も応募できます。西濃地域では、大垣市、海津市、垂井町、関ヶ原町、輪之内町、揖斐川町などが、広報誌等でこの運動を取り上げています。

「あったかい言葉」の募集をPTAで行い、それを家庭教育学級の1つとしていたりするところもあります。また、「一日の終わりにありがとうと言えることを見つけ、伝えよう。」という約束を決め、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動に取り組めば、両方の運動が目指している「家族であったかい言葉を伝え合う」願いにつながっていきます。

岐阜県特設サイト「みんなで家庭教育」はこちら！
家庭教育動画も掲載されています。



「そのままの自分でいい」（小学校5年生）

わたしは4年生くらいのときにおばあちゃんに相談しました。「おばあちゃん。私は計算はおそいし、うんどうしんけいもわるいの。でも、わたしの友達わたしにないもの全部もっているの。だからうらやましい。」そう言うとおばあちゃんは「あなたはそのままでもいいのよ。あなたは変わらなくていい。あなたなりにいいところがあるんだから。」とかえしてくれました。そのひとことで、わたしは心がとてもあたたかくなりました。

「あったかい言葉運動」作品募集についてはこちら！



リーフレット作品
及びアニメー
ション動画作品が
視聴できます。

過去作品